



『築こう世代の 和・地域の心』 三世代が結束 GB大会

多良間村は、
39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。



the most beautiful
villages
in japan

前泊港に浮き棧橋共用開始



去る4月27日、県が進めてきた平成26年度事業の浮き棧橋が完成。前泊港で共用開始式が行われた。開始式では関係者や漁業者らが参加し竣工を祝った。前泊港は潮位の変化によって船舶の乗り降りや貨物の運搬作業等に支障をきたしていた。浮き棧橋の完成により、安全性や利便性の向上が期待される。

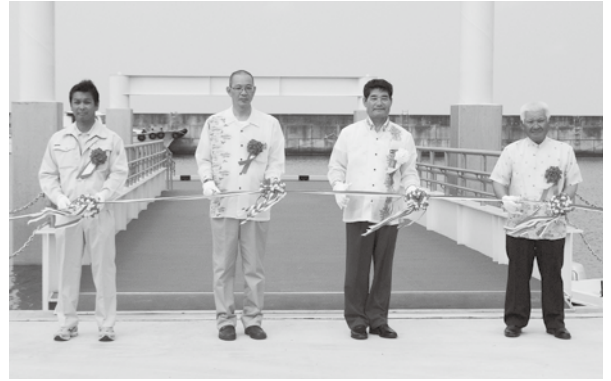
完成した浮き棧橋は、観光客を含めた利用者の安全性・利便性の向上はもとより、潮位の大きい時や干潮時に岸壁と浮き棧橋間に連結橋の勾配の安全性も考慮されている。

開始式で伊良皆光夫村長は「本港においては、潮位の変化に応じた対応ができず、水面から高さの低い小型船舶が接岸した際に人の往来や荷物の運搬が容易に行えないという、作業の非効率と作業を行う人に身体的に大きな負担となり、危険性も伴っていました。このような状況を改善していく方策として、浮き棧橋の必要性が求められました。要望に応え、潮位の大きい場合や、干潮

時や満潮時に、岸壁と浮き棧橋間に架設された連絡橋の勾配の安全性を考慮するなど、様々な方面で工夫された利用しやすい最新の浮き棧橋ができました。

浮き棧橋は、船舶への乗り降り、物資の積み下し、特に漁の成果である魚・海産物の荷揚げを目的として設置されています。水位の変化に追従して上下するため、常に水面から一定の高さを保持することができることによる利便性、安全性が確保できることが最大の利点であります。また、マリレジャーなどにおける船舶利用者が快適・安全性を確保できることから、海のレジャーや観光産業、地域振興にも大きく寄与できるものと期待いたしております。

漁民の皆さんや利用する船舶関係者の皆さんには、この浮き棧橋が最大限有効に活用されますよう、それぞれの事業を進展させ、経済の活性化を図って頂きたい」と式辞を述べた。



第28回三世代G・B大会

結果は次のとおり

優勝：土原Bチーム
準優勝：宮良Aチーム
3位：土原Aチーム・大道Aチーム



▲優勝土原Bチームと右池城教育長

去る4月29日、多良間村教育委員会（池城三千雄教育長）主催による第28回三世代ゲートボール大会が、村営ゲートボール場で行われた。参加チーム33チーム約200人が参加し和気あいあいの中、珍プレイや好プレイで賑わっていた。

ゲートボールを通して、三世代が一つになり、楽しく心の和を広げ、絆を深め健康で明るい地域を目指すことを趣旨とし、「築こう世代の和・地域の心」をスローガンに開催された。各チームとも戦略を練り優勝を目指しスティックを振った。

閉会式で池城教育長は、「参加者の中で4月に家族でのUターン出場チームの紹介があり、また来年も楽しい大会にしたい」とあいさつした。

多良間新製糖工場建設事業説明会

去る4月多良間村(伊良皆光夫村長)は、多良間村新製糖工場建設住民説明会を開いた。村産業経済課(仲宗根春光課長)から事業計画概要説明、経過説明、今後のスケジュール等を説明。その後、多くの参加者からの質疑に答えていた。

1. 事業計画概要

(1) 事業名

- ① 沖縄県含みつ糖製糖施設近代化事業(県一括交付金活用)
 - ・ 機械器具設置工事・建屋等建設工事
- ② 沖縄振興特別推進交付金事業(村交付金事業)
 - ・ 用地造成工事調査測量委託業務・造成工事委託業務
 - ・ 不発弾等事前探査委託業務
 - ・ 外構工事(ケーンヤード、トラッシュヤード等)



(2) 位置

多良間村字塩川地内(現宮古製糖多良間工場の一部を利用する)

(3) 事業主体及び実施年度(平成27年度～平成28年度)

(4) 事業費

事業名	事業費(円)	補助金・交付金(円)	村負担金(円)	備考
沖縄県含みつ糖製糖施設近代化事業	7,187,106,000	6,468,395,000	718,711,000	補助率(90%)
沖縄振興特別推進交付金事業(村一括交付金事業)	252,279,000	201,823,000	50,456,000	補助率(80%)
合 計	7,439,385,000	6,670,218,000	769,167,000	

(5) 事業規模(能力) 含みつ糖製糖施設(250トン/日)

2. 今後のスケジュール

- ① 用地関係
 - ・ 施設用地造成工事、付帯工事：平成27年9月～平成28年11月
- ② 機械器具製造・設置工事：平成27年6月～平成28年12月
- ③ 建設設計：平成27年6月～12月
- ④ 建屋工事：平成28年1月～10月

多良間村難病患者等に係る航空運賃の一部助成金交付要綱の一部改正

- ・ 改正前 往復 1万5千円 各年度2回まで
- ・ 改正後 往復 5万円 各年度5回まで に改正されました。

- ・ 診断書は年度の最初の申請時に提出して頂ければ、年度中有効とします。
- ・ 低年齢及び介護を必要とする、付き添いで同行する2親等以内の親族の1名の低年齢とは中学生までとします。

詳しくは、住民福祉課までお問い合わせください。TEL.0980-79-2623

広報たらま
寄付金のお礼

山城 常義様(西原町在) 宮国 朝好様(大阪府堺市在)
昭和18年生(15名)トゥイ会にて来島 ありがとうございます。

岩手県宮古港 開港4百周年記念式典

去る4月24日に岩手県宮古市で宮古港開港4百周年記念式典が開かれた。時代行列と地元の子どもたちと一緒に南部家当主や盛岡藩ゆかりの首長らが歩み、平成23年の東日本大震災以来のパレードということもあり、市民の声援が明るく伺えた。

宮古市(山本宮古市長)は漁業と交易の拠点としてたゆまぬ発展を続けた港町、東日本大震災の復興事業が進む中、幾多の災害を乗り越えた先人の歩みに学び、次の100年に向けた誓いを新たにしました。

記念式典終了後に交流会がひらかれ、伊良 ▲南部家第46代当主

皆光夫村長は、あいさつに立ち、「宮古港開港400周年誠におめでとうございます。宮古港は、盛岡藩の外港として開港。慶長(1611年)の天津波から復興するため、港を中心としたまちづくりが始まりとのことであり、その後、明治・昭和の天津波、度重なる被害にも屈せず復興を成し遂げてきたことは、驚きと同時に感動すら覚えます。幾多の苦難にも負けず、度重なる災害をはねのけてきた、その底力には北国の方々の粘り強さと、逞しさが現れていると思います。

慶長の津波から400年後のあの東日本大震災はさらなる苦難の歴史を繰り返してしまいました。震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、今でも不自由な生活を強いられている方々が、一日も早く立ち直られることを願ってやみません。

多良間島は、ここ宮古から約3000Kmも離れた南の遠い島です。今から156年前の善宝丸の



▲多良間から送られた珊瑚石! 市役所前に平成9年設置

善平衛さんら7名の皆さんが取り持つ縁で、両市村の絆が結ばれ教育・文化・経済いろいろな交流ができていますことは、私たち多良間村民にとりまして嬉しい限りであります。

両市村の交流が始まって36年余となり、その間多良間から一般の皆さんや、小中児童生徒がご当地を訪問しお世話になっております。

山本市長を先頭に、市民の団結で新しい未来へ、大きく羽ばたき、宮古市民のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。」と述べた。

宮古市への参加者：伊良皆村長、森山実夫議長、池城三千雄教育長、総務財政課照屋



J A 宮古カボチャ部会多良間支部(安里三喜男支部長)は地産地消の推進を目的に、村共同調理場(80㎡)と村立保育所(20㎡)・高齢者生活福祉センター(20㎡)へ、完熟したカボチャを贈呈した。

安里会長は毎年贈呈をおこなっており「安全・安心で完熟した新鮮なカボチャを、新学期を迎えた子どもたちに食べさせてほしい」と話した。また、栄養職員の嘉手苅百合恵さんは「たくさんのカボチャをありがとうございます。献立の中で児童生徒が美味しくいただけるよう料理します。」と感謝した。

**完熟カボチャ
贈呈**

多良間幼稚園・
小学校

交通安全教室開く



▲しっかり手を上げてわたります！

その後、信号機のある交差点へ移動し、比嘉巡査部長の指導で横断歩道を渡る実習をおこなった。比嘉巡査部長は、「みんなは背が低くて大きな車からは見えにくい。『私はここにいますよ、渡りますよ』としっかり手をあげて渡ろう」と教えた。

森田校長は、「多良間には信号が1つしかありません。宮古や沖縄本島に行くとき号機や自動車もたくさんある。皆さんはいっかつ多良間を出て行き生活するでしょう。しっかりと交通ルールを勉強してほしい」と話した。

去る4月28日、村立多良間小学校（森田正人校長）では、体育館において交通安全教室を開いた。幼稚園・1年2年生を対象に行い、宮古島警察署多良間駐在の比嘉利昌巡査部長が、横断歩道の渡り方、自転車の正しい乗り方について交通ルールを教えた。

◆◆◆ 還暦同窓会が寄付 ◆◆◆



▲小中校へ寄付！右：還暦代表野里課長

去る2月に行われた年末の「トウイ会」還暦同窓会（野里雅明会長）が、多良間小（森田正人校長）・中学校（本村晃則校長）に「子どもたちの勉強・スポーツや学校備品購入などに役立てて下さい」と寄付金を贈呈した。この寄付金はトウイ会で募ったもので野里会長らが小・中学校を訪れ両校長へ手渡した。

両校長は、「ありがとうございます。現在、学校にない鯉のぼりを購入したい。生徒達の教材や本の購入費に充てたい」とお礼を述べた。

●●● 小中校PTAに寄付 ●●●



▲小中校PTAに寄付 右：砂川社長

株式会社多良川（砂川拓也社長）は、小・中学校のPTAに寄付金を贈呈した。

砂川社長は平成19年から、社会貢献活動の一環として売上げの一部から多良間村の青少年健全育成を目的に寄付を行っている。

贈呈にあたり砂川社長は、「企業活動の一環として地域への還元事業を行っている。島の子どもたちが誇りと責任と自覚を持てたらと期待を込めPTAの皆さんが有効に活用してほしい」と話した。

また小中のPTA会長等は、「私たち保護者がどう使うか先生たちと相談し、子どもたちのため活用していきたい」と感謝した。

2015電波利用環境 保護周知啓発強化月間

「電波のルール」を守りましょう！
不法電波から暮らしをまもれ！

*電波のルールって？

- ①無線機の利用には「技適マーク」の確認を！
- ②電波の利用には、原則、免許が必要！
- ③外国規格の無線機器は、国内では使用不可！

総務省沖縄総合通信事務所
監視調査課
☎098-865-2308

全国一斉「子どもの人権110番」強化月間

平成27年6月22日(月)から28日(日)まで

*電話受付時間

平成27年6月22日(月)から26日(金)までは
午前8時30分から午後7時まで

平成27年6月27日(土)及び28日(日)は
午前10時から午後10時まで

*電話番号：0120-007-110

*相談担当者：人権擁護委員及び法務局職員

*相談内容：「いじめ」など子どもの人権にかかわる
問題についての悩みや困りごと

*問合せ先：那覇地方法務局人権擁護課

TEL：098-854-1215

6月1日～7日『HIV(エイズ)検査普及週間』

「この症状、もしかしたら」その不安、エイズ検査でなくせます」

沖縄県は、全国的に見てもHIV感染者/エイズ患者の報告数が多い地域となっています。

●沖縄県の特徴

- ・2014年(平成26年)のHIV感染者/エイズ患者は、過去最高の33件。
- ・2013年の人口10万人あたりの新規報告数でみると、HIV感染者/エイズ患者はともに全国3位。
- ・年代別では、20代～50代に幅広く分布。 ・人口10万人あたりの検査受験者は全国1位。

たとえHIVに感染していても、早期発見・早期治療により、エイズの発症を遅らせることができ、感染前と変わらない生活を送ることも可能です。

●宮古保健所では毎週(火曜)・(木曜)に実施している無料・即日・匿名検査を、検査普及週間の期間中は、検査日を拡大実施します。

○6月1日(月)～5日(金)：午前9時～11時、午後1時～3時

○6月2日(火)・4日(木)：夜間検査 午後6時～8時(要予約)

○場所：宮古保健所 1階検査室 (電話：73-5074)

夜間検査あり・要予約：18:00～20:00

*HIV検査のほかに梅毒検査・クラミジア検査・肝炎検査についても、希望者には実施します。

不正改は犯罪です 6月は「不正改造車排除強化月間」です。

自動車は、生活に欠かせない移動手段となっているのみならず、娯楽の道具としても認識されており、様々な部品等が販売されており、手軽に取り付け等ができる状況にあります。

しかしながら、①灯火の色が不適切な灯火器及び回転灯等の取り付け、②運転者席・助手席の窓ガラスへの着色フィルムの貼付け、③タイヤ、ホイールの車体(フェンダー)外へのはみ出し、④基準外ウイング(エア・スポイラ)の取り付け等の不正改造を施された車両が存在し、国民生活の安全・安心を脅かしていることが問題となっております。

これらについては、それぞれ①周囲の交通に誤認を与える、②運転者の視界を妨げ状況確認が困難となる、③歩行者に危険を及ぼすとともに車体やブレーキ機構への干渉により故障・事故の原因となる、④他の交通の妨げとなることが懸念されるため、禁止されています。

国土交通省では、これら不正改造を排除し、車両の安全確保を図るため、関係省庁、自動車関係団体等と協力して、「不正改造車を排除する運動」を全国的に展開しており、特に6月を強化月間として重点的な取組を行っております。

*不正改造車を見掛けたら、下記まで情報をお寄せ下さい。

「不正改造車・黒煙110番」

☎098-866-1837 (沖縄総合事務局 運輸部 車両安全課)

☎098-875-0300 (沖縄総合事務局 陸運事務所 整備部門)

保健師からのお知らせ

心地の良い時季はあっという間に終わり、長い夏が始まろうとしています。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、今回の保健師からののお知らせは、診療所からののお知らせになります。診療所では最近、時間外(夜間、休日)受診が多くなっています。もちろん急患発生時にはいつでも受診して頂きたいのですが、不急の際には、翌日や翌週の診療時間内での受診をお願いします。なお、診療所の診療時間は午前9時から正午まで及び午後2時から午後5時15分までとなっています。

ただし、通常は午前中に受診するようにお願いします。

診療所は村内唯一の医療機関です。医師、看護師それぞれ1人ずつで奮闘なさっており、時間外対応は大きな負担になります。不要不急の時間外受診は避けるよう村民皆様のご協力をお願いします。

平成27年5月14日 末永 明彦

診療時間 午 前 9:00 ~ 12:00 (受付は 11:30 まで)
 午 後 14:00 ~ 17:15 (急患や予防接種等)
 ※通常は午前中の受診をお願いします。

村長のたうけーむぬゆむ(ひとりごと)

宮本常一(みやもとつねいち 1907~1981)は有名な民俗学者である。ただ、小学校教員養成を目的とする師範学校が最終学歴であり、学者としてのその道の専門的な大学を出たわけではない。生まれては、瀬戸内海の島の貧しい農家である。幼少時からの農作業生活などの自己体験を発表しているうちに、民俗学の大御所柳田國男の目にとまり民俗学会へと引き込まれる。

貧しい農家に生まれた宮本少年は満足に学校もいけなかった。それでも小学校を卒業したあと、「世の中に素手でてめえには身体がもと手だ」という父の考えに従って一年間は百姓をした。その後、郷里を離れ大阪へ出向くことになる。大正末期のことだ。家を出る子供に対して、彼の父がいくつかのアドバイスを与えた。父に言われた言葉を常一(つねいち)少年は書きとめておいた。感銘する話である。

⑥ 私はおまえを思うように勉強させてやる
 ことができない。だからお前には何も注文しない。しかし身体は大切にせよ。三十歳まではお前を勘当したつもりでいる。しかし三十歳を過ぎたら親のあることを思いだせ。
 ⑦ ただし病気になるったり、自分で解決のつかないようなことがあったら、郷里へ戻ってこい、親はいつでも待っている。
 ⑧ これからさきは子が親に孝行する時代ではない。親が子に孝行する時代だ。そうしないと世の中はよくならぬ。
 ⑨ 自分でよいと思ったことはやってみよ、それで失敗したからといって親は責めはしない。
 ⑩ 人の見残したものを見るようにせよ。その中にいつも大事なものがあはす。あせることはない。自分のえらんだ道をしっかりと歩いていくことだ。

① 汽車に乗ったら窓から外を見よ。田や畑に何が植えられているか、育ちがよいかわるいか、よく観察しなさい。
 ② 村でも町でも新しくたずねていったところは、かならず高いところへ上がって見よ。高いところでよく見ておいたら、道にまようようなことはほとんどない。
 ③ 金があつたら、その土地の名物や料理は食べておくのがよい。その土地の良さがわかるものだ。
 ④ 時間のゆとりがあつたら、できるだけ歩いてみる。いろいろなことを教えられる。
 ⑤ 金というのはいくらあってもそんなにむつかしくない。しかし使うのはむずかしい。それだけは忘れぬように。

母の思い出もまた美しい。私にとって母は慈愛の深い人であつた。田畑の仕事がなければ母は一日中機を織っていた。機で布を織って着物をつくり、父と姉と私と弟の着物を織り、私たちに着せてくれた。新しいのを着せてくれるときは、それを柱に着せて「主は強かれ、着物は弱かれ」と唱えた。進学、就職と新しい道へと羽ばたいていく季節。親元を離れる人、はじめて職場に就く人、人それぞれの人生があると思う。世の中はどんどん変わっていくが、変わらぬのが親の深い愛だ。

「天ぬ 群星や
 読みば ゆまりし
 が 親ぬ 教し
 事や 読みやならん」



沖縄地方は、梅雨の季節となりました！

梅雨とは、季節が春から夏に移る間の特に、曇りや雨の多い時期のことを言います。沖縄地方は、平年では5月9日ごろに梅雨入りを迎え、6月23日ごろまで40日以上梅雨となります。この期間が二十四節気の「小満」「芒種」にあたることから、沖縄では梅雨を方言で「スーマンボースー」とも呼んでいます。

梅雨期は、発達した積乱雲により局地的な大雨や集中豪雨の発生が多くなります。低い土地での浸水や傾斜地での崖崩れ等に警戒が必要です。また、落雷や突風、竜巻などにも注意が必要です。

※http://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/baiu/kako_baiu01.html

急な

大雨・雷・竜巻から身を守ろう！

～すぐに安全な場所に避難しましょう～

発達した積乱雲(雷雲)の下では「急な大雨」、「雷」、「竜巻などの激しい突風」が発生します。川や用水路の急な増水、道路の冠水、落雷、竜巻などの激しい突風などにより、ふだんは何でもない場所が、命を落とす危険な場所になることがあります。積乱雲が近づく兆しを感じたら、すぐに危険な場所から離れる、丈夫な建物などにしばらく避難するなど安全確保に努めましょう。

村民ご意見箱 を設置 (村役場)

村民の皆様から村の業務に関する意見などをお寄せ頂き、よりよい多良間村づくりに生かすため役場玄関に設置しました。どうぞご遠慮なくご意見をお寄せ下さい。

*村の業務以外の意見や特定の人への中傷、営利目的などの内容は受け付けません。

4
月

世帯数と人口

(平成27年4月末現在)

総世帯数 521 (+14)
総人口 1,225 (+18)
男 656 女 569

区 別	人 口	世帯数	
土 原	71 (5)	33 (3)	
天 川	98 (−3)	42 (0)	
津 川	108 (2)	51 (2)	
宮 良	72 (−2)	29 (−1)	
嶺 間	149 (1)	64 (1)	
大 道	197 (1)	92 (1)	
大 木	303 (0)	119 (1)	
吉 水	222 (14)	87 (7)	
	5 (0)	4 (0)	
出 生	0	死 亡	1
転 入	27	転 出	8

()内は前月比

おくやみ

字仲筋 大和 久子 平成27年3月8日(78歳)

緊急ダイヤル

火災村消防 (79-2619) 119番
警察官派出所 (79-2010) 110番
急病人(1)多良間診療所 79-2101
(2)時間外 090-6862-6490
(3)役場住民福祉課 79-2623
救急車要請 総務財政課(消防) 79-2619
歯科診療所医師 79-2162
停電 沖縄電力多良間営業所 79-2147
断水 役場住民福祉課 79-2623
家畜疾病 役場産業経済課 79-2503
ガス専用JA多良間 090-6859-2355

救急に関すること (4月)

◆時間外救急受付 20件

◆救急車出動 3件

◆ヘリ搬送 1件

救急車要請:

79-2619

急病人時間外:

090-6862-6490

☆3月中旬から4月にかけて、「タラマバナ」が見頃であった。今年あたりから集落内や畑でよく見掛けるようになった。花の咲き始めは真つ黄色に咲き徐々に紅色に変わり、鮮やかな色で目の保養になる。

☆観賞用植物として、また昔は染料原料として重宝されていた。日本には、飛鳥時代(6世紀後半)8世紀初頭(に原産地のエジプトからシルクロードを経て渡来したといわれる。

☆『朝鮮王朝実録の琉球史料集成』によると(1497年)多良間島の船が朝鮮に漂着した。乗組員は10人であった。不幸にも6人が死亡した。朝鮮の問いに対し漂流民は「我が島は紅花多く産し」と答えた。多良間島では少なくとも15世紀末には紅花(タラマバナ)が栽培されていたことがうかがえる。

☆島では「たらまばな保存会」を立ち上げ栽培普及活動に力をいれている。また、JTAのコーラルウェイ5/6月号(31ページ)でもタラマバナについて掲載されている。

てるけん

編集後記